

株式および株主の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	125,291,112株
株主数	10,105名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,251	8.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	8,806	7.03
株式会社伊予銀行	5,329	4.25
株式会社愛媛銀行	5,017	4.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,508	3.60
ミウラグループ従業員持株会	4,444	3.55
愛媛県	3,000	2.39
公益財団法人三浦教育振興財団	3,000	2.39
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,959	2.36
いよぎんリース株式会社	2,906	2.32

(注)1.当社は、自己株式12,744,432株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の大株主から除外しております。

(注)2.出資比率は、発行済株式総数に対する持株数の割合を表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
◎株主総会の決議結果につきましては、本年から書面による決議通知の発送に代えて、当社ウェブサイト (http://www.miuraz.co.jp/ir/general_meeting.html) に掲載させていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。	

会社概要

社名	三浦工業株式会社
設立	昭和34年5月1日
資本金	9,544,007,333円
本社	〒799-2696 愛媛県松山市堀江町7番地 TEL (089) 979-7045 (経営企画室)

役員の状況

代表取締役会長	高橋 祐二	取締役常務執行役員	児島 好宏
代表取締役社長執行役員CEO	宮内 大介	取締役常務執行役員	原田 俊秀
代表取締役副社長執行役員COO	西原 正勝	取締役常務執行役員	米田 剛
取締役専務執行役員CCO	細川 公明	取締役監査等委員	俵 純一
取締役常務執行役員	越智 康夫	取締役監査等委員	広瀬 雅旨
取締役常務執行役員	福島 広司	社外取締役監査等委員	山本 卓也
取締役常務執行役員	丹下 聖吾	社外取締役監査等委員	佐伯 直輝
取締役常務執行役員CTO	森松 隆史	社外取締役監査等委員	仲井 清真

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先にお願いいたします。

公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができないときは、日本経済新聞に掲載。
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部



●JR下灘駅

三浦工業本社のある愛媛県松山市から南へ。伊予市双海のJR下灘駅は、美しい夕焼けや夕日を望むことができる駅として、鉄道ファンや観光客に人気。観光列車「伊予灘ものがたり」を見ることが出来ます。

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

第59期 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日



代表取締役社長執行役員CEO 宮内 大介

私たちミウラグループは、経営理念である『世界のお客様に省エネルギーと環境保全でお役に立つ』を実現するため、「世界一安くて良い熱・水・環境商品を世界のお客様に届けよう」というスローガンのもと、ボイラで培った技術と経験を活かし、お客様が抱えられておられる様々な問題を解決する「トータルソリューション」を提供する企業を目指してまいります。

Q 第59期決算の事業の概況を教えてください。

当期の業績につきましては、海外で円高の影響により円換算ベースでは売上高が減少しましたが、中国や韓国において積極的な提案活動により現地通貨ベースで売上を伸ばしました。国内では主力の小型貫流ボイラとバラスト水処理装置の売上が増加し、前期比3.6%増の1,025億4千9百万円と7期連続増収となり、初めて1,000億円を突破しました。また、利益面については、海外において米国が赤字となるなど不調で

したが、国内では増員や新製品の開発などのため、人件費や研究費が増加したものの、増収効果により、営業利益は105億7千7百万円と前期比3.5%増、経常利益は119億1千3百万円と前期比9.4%増、親会社株主に帰属する当期純利益は、81億6千3百万円と前期比9.2%増となりました。

Q ミウラグループの経営方針について教えてください。

ミウラグループは、エネルギー有効利用や環境関連の分野で有用な新製品やサービスを独自の技術力で創出し、「世界一安くて良い熱・水・環境商品を世界のお客様に届ける」ことを経営の基本方針としております。その上で、企業価値の最大化を目指して透明性や効率性の高い経営に努め、株主をはじめとするステークホルダーの皆様の期待と信頼にお応えするとともに、健全な成長を図って企業の社会的責任を果たしたいと考えております。さらに、私たちミウラグループは、「我々はわが社を最も働きがいのある、最も働きやすい職場にしよう」をモットーに、信頼・連帯感・誇りで結ばれる風通しの良い職場の実現を目指し、働きがいのある企業風土づくりや人材育成などに取り組み、成長し続けるための基盤強化を図ってまいります。

Q 新しくミウラグループの一員となった株式会社アイナックスについて教えてください。

株式会社アイナックスは、業務用クリーニング機器のトップランナーとして、「お客様本位」で事業展開を進め、商品開発・製造・販売・メンテナンス・機械設備エンジニアリング等を行い、強固な事業基盤を築いてきました。今後は、共に切磋琢磨しながらトータルソリューションの提案の幅を広げ、総合力により競合他社との差別化・優位性を確立し、新しい価値を創造したいと考えております。世界のお客様にとって必要不可欠な企業グループとなることを目指す仲間となれたことは、ミウラグループにとって大きな喜びです。

中期経営計画

2016年度の振り返りとローリング（事業環境を考慮した見直し）について

2016年度の売上実績については、計画に対し約15億円減少しました。売上減少の要因は、バラスト水管理条約発効の遅れが販売に影響したことと米国・台湾での販売の不振です。今後の見通しについては、国内は順調に推移し、今後もバラスト水処理装置とソリューション営業により継続的な成長を見込んでおります。海外においては、中国での環境規制の強化により高効率ガス焚きボイラの販売拡大を見込んでおります。なお、海外の状況の変化を反映して計画値を修正しております。

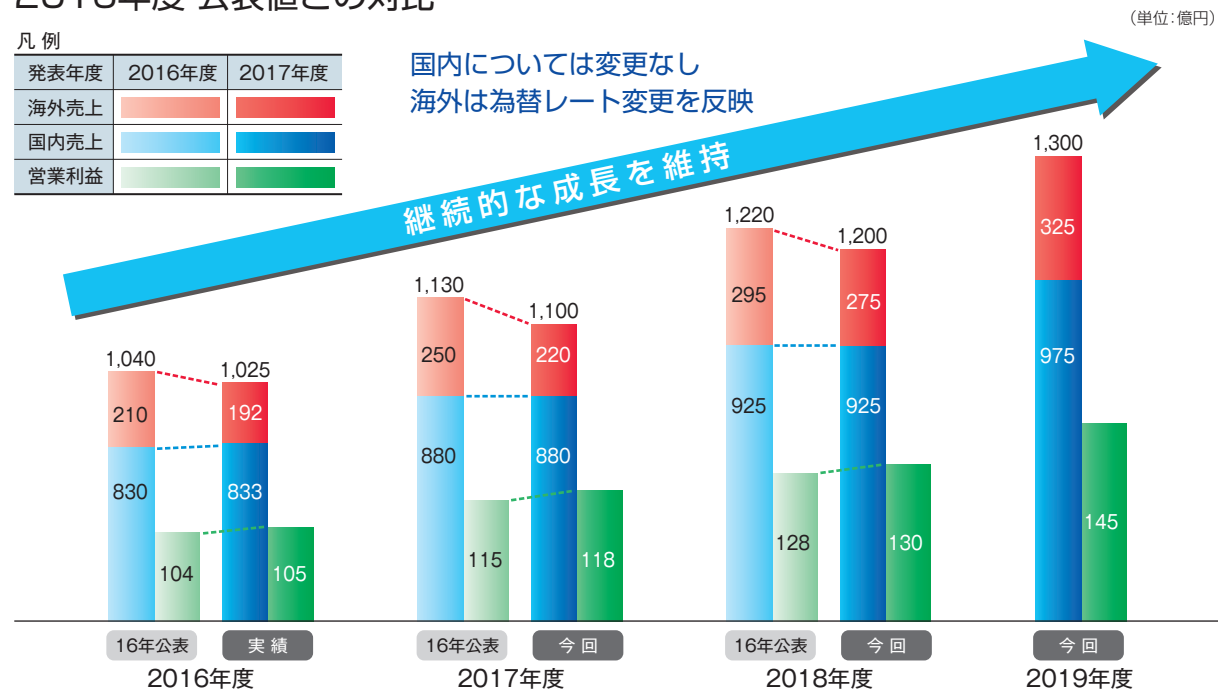
為替(平均レート)	2016年度	2017年度計画
USD	108.34	105.00
CAD	82.50	78.00
元	16.10	15.40

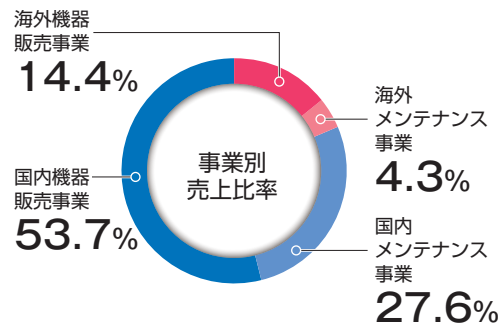
2016年度 公表値との対比

凡 例

発表年度	2016年度	2017年度
海外売上		
国内売上		
営業利益		

国内については変更なし
海外は為替レート変更を反映





業績について



- 国内では、食品業界のボイラ入替えによる売上増、船用機器（バラスト水処理機器）などが売上を伸ばしました。

- 海外では、米国・台湾の大型物件不足による低調もありましたが、中国・韓国は堅調に推移しました。この結果、過去最高を更新しました。



- 米国が赤字に転じるなど不調もありましたが、一方、国内では増員や新製品の開発などのため人件費や研究費が増加したものの、増収効果により、利益は増加しました。

国内

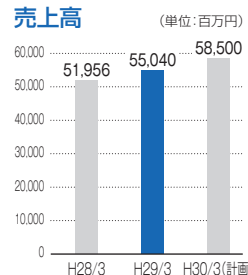
国内機器販売事業



● 当期のポイント

食品業界の当社ボイラの入替えの増加などにより、小型貫流ボイラ及び関連機器は引き続き売上を伸ばしました。また、積極的な営業活動により、バラスト水処理装置は好調に推移しました。この結果、当事業の売上高は550億4千万円と前期(519億5千6百万円)に比べ5.9%増となりました。セグメント利益につきましては、ベースアップの実施や増員などにより人件費が増加するとともに、バラスト水処理装置や燃料電池などの新製品に係る研究費なども増加しましたが、増収効果により30億2千6百万円と前期(25億4千9百万円)に比べ18.7%増となりました。

SQ-3000AS×3台とボイラ室オペレーションパネル

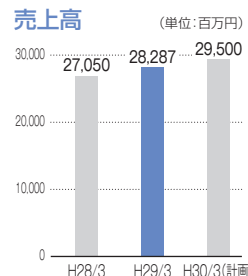


国内メンテナンス事業



● 当期のポイント

設置台数の増加と有償保守契約取得の積極的な活動により売上を伸ばしました。この結果、当事業の売上高は282億8千7百万円と前期(270億5千万円)に比べ4.6%増となりました。セグメント利益につきましては、ベースアップの実施や増員などにより人件費が増加したため、64億9百万円と前期(63億6千2百万円)に比べ0.7%増にとどまりました。



国内外売上比率 (単位:億円)

	国内	海外	海外比率
第58期H28/3	790	200	20.2%
第59期H29/3	833	192	18.7%

海外

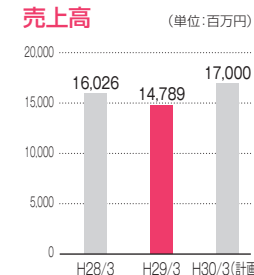
海外機器販売事業



● 当期のポイント

米国・台湾は販売台数の減少により低調に推移しましたが、中国や韓国は積極的な提案活動により、現地通貨ベースでは売上を伸ばしました。しかし円換算ベースにおいては円高の影響を受け、当事業の売上高は147億8千9百万円と前期(160億2千6百万円)に比べ7.7%減となりました。セグメント利益につきましては、各国とも増員などにより人件費が増加したため、7億4千9百万円と前期(12億5千3百万円)に比べ40.2%減となりました。

CZI2000BM 中国の主要ボイラ



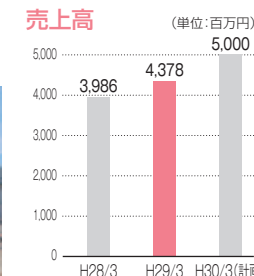
海外メンテナンス事業



● 当期のポイント

メンテナンス網の拡大や大手ユーザーに対する有償保守契約の獲得活動を行いました。この結果、当事業の売上高は43億7千8百万円と前期(39億8千6百万円)に比べ9.8%増となりました。セグメント利益につきましては、各国ともメンテナンス網の拡大を行い経費が増加しましたが、増収効果により9千4百万円と前期(△3億7千1百万円)から一転し黒字になりました。

インドネシア カラワン工場



軟水で
ラクラクお掃除 & スキンケア
快適生活はじめませんか？

らくらく
スキンケア



石けんカスの
生成を抑え
お肌にやさしい

家事ラク

汚れが減って
水まわりの
お掃除ラクチン



水まわり
清潔



水道水使用
(築8年)の浴室

浴室の汚れや
カビ汚れの一因
石けんカスを抑え

より清潔な
水まわりへ



ミウラの
軟水器



軟太郎
ソフティナ

美肌っ子



ずっと快適、
軟水生活
もっとしあわせ

詳しくは、ホームページをご覧ください。

ミウラの軟水

検索

<http://www.nansui.jp>

(注)海外売上は、海外現地法人の売上を集計しております。

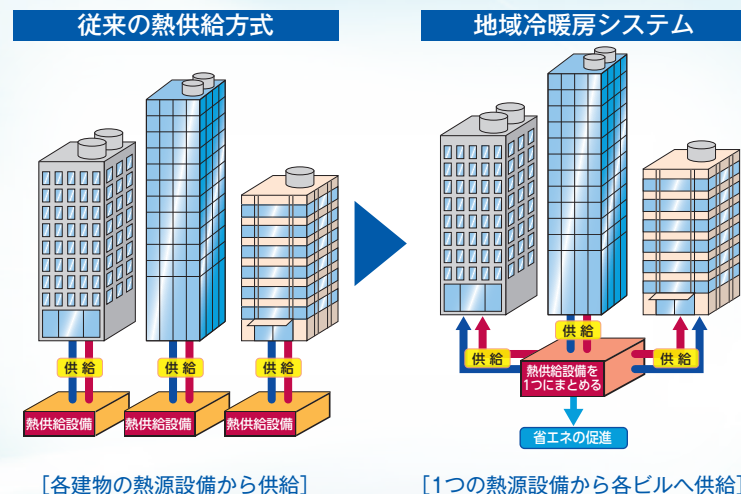
2020年「環境都市東京」の実現へ 省エネでサポート

近年、東京都を中心に再開発が盛んに行われ、一層魅力的な街に生まれかわりつつあります。東京は今、2020年のオリンピック開催に向け、再開発および改修ラッシュを迎えようとしています。再開発では、地上の快適な生活空間への改善を図るとともに、地下では、熱供給方法も見直され、「地域冷暖房(地冷)システム」という方式が採用されています。「地冷システム」とは、建物ごとに冷凍機やボイラなどを設置するのではなく、1つの熱供給設備から

周辺の複数の建物へ冷水、温水、蒸気などを供給することにより冷暖房や給湯を行う方式です。

ミウラの貫流ボイラは、独自の省エネ技術が認められ、「地冷システム」への納入が始まっています。東京駅周辺はオフィスビルの立ち並び日本でも有数のビジネス

街です。昼間は何万人という人が働いていますが、夜間の人口は激減します。当然のことですが、熱の供給量も人口の増減に合わせて変動します。そこに対応できるのがミウラのMIシステムです。MIシステムとはMultiple Installationシステムの略で、複数台のボイラを設置して、必要な蒸気使用量に応じてボイラの稼働台数を自動的に増減し、必要なときに必要な量だけ効率よくボイラを稼働させるミウラ独自の蒸気供給



システムです。省エネ、省力、環境負荷低減に大きな効果を発揮します。

ミウラでは、今回ご紹介した「地冷システム」をはじめ、ホテル、公共施設などへのボイラ納入を見込んでいます。省エネ技術と環境保全で、ミウラは2020年の東京オリンピック開催に向け、「環境都市東京」の実現を全力でサポートしてまいります。

	ビルの状況	小さなボイラの並列 (MIシステム)	大きなボイラ
日中は負荷高		 貫流ボイラ	 炉筒煙管ボイラ
夜間は負荷低		 必要な負荷分だけ稼働 ◎効率が良い	 負荷に関係なく稼働 ×効率が悪い

「地冷システム」による熱の供給先は、病院や大規模オフィスビル、庁舎、ホールなどの日常生活に欠くことのできないインフラ・公益事業であることから、熱の安定供給は必須です。

そのため、最も重要視されるのが「信頼性」です。国内トップシェアであるミウラの貫流ボイラと手厚いメーカーメンテナンスは、おかげさまで、お客様に「大

きな信頼」と納入後の「高い評価」をいただいております。

2020年に青く澄み渡った東京の空の下で繰り広げられる熱戦とともに、私たち首都圏で活動するミウラ社員は、「省エネルギーと環境保全」で世界中から訪れる皆さまをワクワクさせられるよう、努めてまいります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

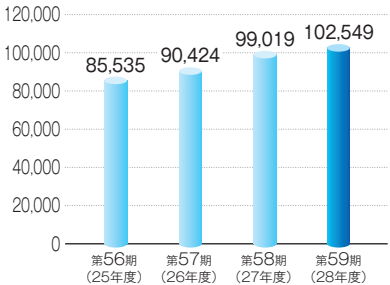


首都圏事業本部
執行役員
小野 巧

連結経営指標

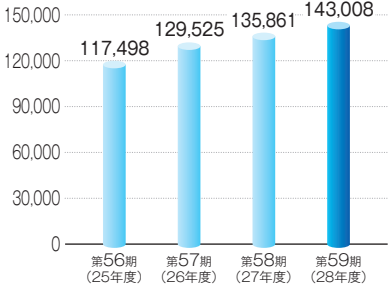
売上高

(単位:百万円)



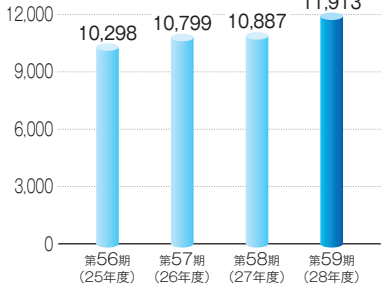
総資産

(単位:百万円)



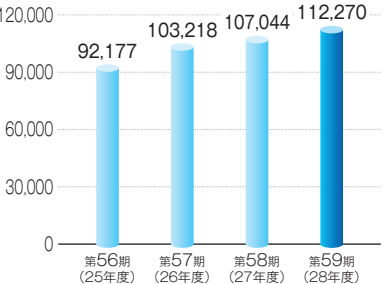
経常利益

(単位:百万円)

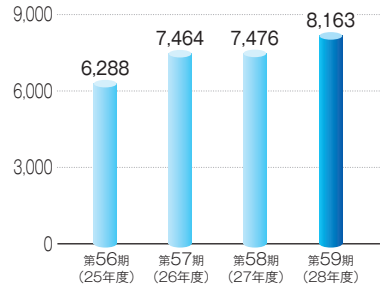


純資産

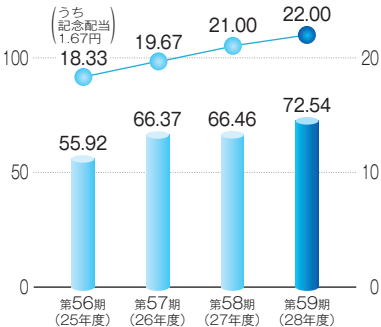
(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益・配当金 (単位:円)



当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。第56期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」、「1株当たり配当金」を算定しております。

		第56期 26/3	第57期 27/3	第58期 28/3	第59期 29/3
収 益 性	売上高経常利益率(%)	12.0	11.9	11.0	11.6
	自己資本当期純利益率(%)	7.1	7.7	7.1	7.5
安 全 性	自己資本比率(%)	78.3	79.5	78.4	78.2
	流動比率(%)	312.8	317.2	304.9	314.9

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 平成29年3月31日現在	前 期 平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	89,665	80,142
固定資産	53,343	55,718
有形固定資産	39,462	39,286
無形固定資産	819	685
投資その他の資産	13,061	15,746
資産合計	143,008	135,861
負債の部		
流動負債	28,469	26,284
固定負債	2,267	2,531
負債合計	30,737	28,816
純資産の部		
株主資本	109,681	103,811
資本金	9,544	9,544
資本剰余金	10,138	10,097
利益剰余金	97,019	91,212
自己株式	△ 7,020	△ 7,042
その他の包括利益累計額	2,097	2,728
新株予約権	268	246
非支配株主持分	223	258
純資産合計	112,270	107,044
負債純資産合計	143,008	135,861

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期 平成28年4月 1 日から 平成29年3月31日まで	前 期 平成27年4月 1 日から 平成28年3月31日まで
売上高	102,549	99,019
売上原価	60,865	58,825
売上総利益	41,683	40,194
販売費及び一般管理費	31,105	29,974
営業利益	10,577	10,220
営業外収益	1,378	1,161
営業外費用	42	494
経常利益	11,913	10,887
特別利益	6	240
特別損失	86	47
税金等調整前当期純利益	11,833	11,080
法人税、住民税及び事業税	4,002	3,591
法人税等調整額	△ 344	13
法人税等合計	3,657	3,604
当期純利益	8,175	7,476
非支配株主に帰属する当期純利益	12	—
親会社株主に帰属する当期純利益	8,163	7,476

教えて!ミウラマン
ミウラが首都東京の地下で省エネって?

東京は再開発でますます魅力的な街になるね。

その地下でミウラのボイラが活躍してるんだよ。

えっ!? 地下でボイラが活躍って?

再開発では熱の供給方法も見直されて、「地域冷暖房(地冷)システム」を導入するんだ。

従来の熱供給方式

冷水や温水等を1ヶ所でまとめて製造し、各ビルへ供給するシステムだよ。

地域冷暖房システム

うわあー。熱の供給源の1つがボイラなんだね。

ミウラの貫流ボイラが活躍!!

環境性

- CO₂ 排出量削減
- ヒートアイランド削減

地域冷暖房システムのメリット

- 熱源設備が不要
- スペースの有効活用
- ライフサイクルコストの削減

省エネ性

- 高効率運転で燃料代削減
- 夜間電力を蓄熱してコスト安
- コージェネレーション
- 未使用エネルギーの利用

安全性

- 耐震性
- 安定供給(24時間365日監視)
- 二次災害の低減

そうだよ。1ヶ所にまとめるから省エネ。さらにミウラの貫流ボイラで環境にもやさしい!

東京オリンピックに向けて「環境都市東京」の実現だね!

ミウラの貫流ボイラ MI システムにベストマッチ!

業務用クリーニング機器の国内最大手企業を子会社化 更なるトータルソリューションの進化を目指します!

当社は、平成29年7月3日付で、業務用クリーニング機器の国内最大手である株式会社アイナックスと子会社の株式会社稲本製作所の株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。(平成29年5月15日に発表)

株式会社アイナックスは、国内における業務用クリーニング機器業界のトップランナーとして強固な事業基盤を築いております。当社にとって今回の子会社化は、新たな事業領域への参入であり、熱・水・環境のベストパートナーとしての事業領域の拡大と、当社独自の省エネ技術を活かした製品ラインナップの拡充を実現するとともに、工場全体の更なるトータルソリューションをお客様に提供できる環境を整えてまいります。また、当社の国内および海外の販売ネットワークの活用により、株式会社アイナックスが取り扱う製品の市場シェアの拡大も目指してまいります。



連続式洗濯機



inax 株式会社 アイナックス inamoto 株式会社 稲本製作所

【会社概要】		
会 社 名	株式会社アイナックス	株式会社稲本製作所
所 在 地	東京都品川区	石川県白山市
設 立	昭和45年1月	昭和27年6月
資 本 金	1億円	9,630万円
従 業 員	179名(平成29年2月時点)	144名(平成29年1月時点)
事業内容	●業務用クリーニング機械の販売、メンテナンス、機械設備エンジニアリング、電気・建築工事などの施工 ●病院、老人施設、研究所、官庁諸施設等への洗濯、洗浄、乾燥、仕上げ設備全般の販売	

※株式会社アイナックスと株式会社稲本製作所は、平成29年7月1日を以て両社を統合し「アイナックス稲本株式会社」とする予定です。

ミウラグループは、2017愛顔つなぐえひめ国体に協賛しています!
国体開催期間中は、メイン会場「みきゃん広場」にて、当社軟水器による「手洗い体感」を実施します。ぜひ、この機会に軟水のしっとり感をお試しください。

詳しくはこちらをご覧ください! →



2017 愛顔つなぐえひめ国体
第72回国民体育大会 平成29年9月30日(土)~10月10日(火)

2017 愛顔つなぐえひめ大会
第17回全国障害者スポーツ大会 平成29年10月28日(土)~10月30日(月)

君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

